

御前山ビオトープ通信

令和3年6月19日

第59号

発行：御前山ダム環境センター

メール：denen21@ktb.biglobe.ne.jp

ホームページ：<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



目次

1. 春のダム湖ウォーク
2. 御前山小学校田植え
3. 春季御前山ビオトープ育成活動
4. 春の自然観察会

【案内図】



1. 春のダム湖ウォーク

令和3年4月10日に第7回御前山ダム湖周辺を歩く会を実施しました。今回は市の広報誌のみに掲載し、100名参加者を募集しました。

参加者には当日、検温と消毒をお願いし、可能な限り間隔をあげながら実施しました。

当日の天気は快晴で、男性44名、女性71名の合計115名の方に参加を頂きました。

参加した家族連れの方の話では、このコロナの影響でどこにも行くこともイベントも実施されず家にばかりいたのでストレスが溜まることが多かったが、こうして天気にも恵まれ、豊かな自然にも触れることができるとてもいい気分転換になった。

また、鈴木市長をはじめ、参議院議員の上月先生などにも参加頂き、参加者からとても気持ち良かった！と言って頂きました。

ダム湖と山桜をバックに集合



2. 御前山小学校田植え

5月28日（金）御前山小学校児童による田植えを行いました。昨年はコロナ騒動で中止としましたので、今年は5、6年生と一緒に参加しました。

当日は早朝からさわやかな天気で、検山集落の皆さんがテントや苗など早くから準備作業です。

9時過ぎに大型バス2台で子供たちが到着しました。地元から歓迎の挨拶や田植えの説明を受け、さっそく田

田植え風景



植えが始まります。最初は心配顔な子供達も地域の大人の丁寧な指導で徐々にうまくなります。今年は参加者2クラスに大人を併せると大人数となり、1時間少して無事終了しました。

今回は地域おこし協力隊から4名の参加もありました。

3. 春季御前山ビオトープ育成活動

春季の御前山ビオトープ育成作業を6月2日（水）に実施しました。コロナ禍で実施の可否を検討し、茨城県は比較的落ち着いており、作業内容も梅雨前の洪水対策など緊急を要することから、コロナ対策に万全を期しながら実施することにしました。



久しぶりの実施とい

うこともあり、今回は50名近い参加者がありました。3密対策で全体を10数班に分け、分散して作業を実施しました。河川内の石礫、蛇籠の積み直しは大変な作業でしたが、手作業で何とか終了しました。希少植物では手前のフタバアオイ群落が日陰で心配な状況ですが、奥の2か所はイヌショウマなど元気でした。池や

周辺の草刈りなども行い、きれいになりました。次週の子供たちの自然観察会も安心です。

4. 春の自然観察会

6月7日（月）自然観察会を実施しました。今年度は小学校からの強い要望で、田植え体験とは別に自然観察会もぜひ開催してもらいたいということでした。講師には茨城県環境アドバイザーの佐々木泰弘先生（昆虫博士）をお迎えしました。

当日は小学校6年生が17名、5年生が21名と校長先生を含め先生が5名、会員13名で合計56名が参加し、佐々木先生から御前山ビオトープに生息する生物の紹介、ここでしか見られない生物の話などして頂きました。その後、5名ずつ8班に分かれ、それぞれの班に会員がついてビオトープ内を自由に散策し、生物を採集しました。それを持ち寄り、佐々木先生からその生物の名前、特徴や生活環境など幅広い知識で説明して頂きました。中には希少な生物もあり、御前山の豊かな自然についてもお話頂きました。生徒の中には男の子にも負けずに熱心に採集する女の子もいました。

生徒は「こんなにたくさんの種類の生物がいてびっくりした！」「前は昆虫がこわかったけど少し好きになった。」「また来たい！」と言っていました。時間が過ぎるのは早く、改めて御前山周辺の自然環境を残していかなければならないと感じました。

